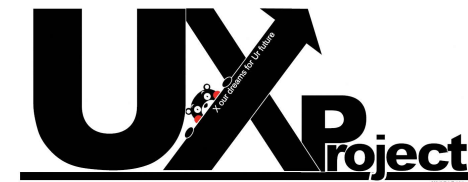


UXプロジェクトの取組みについて

令和5年(2023年)3月

熊本県 産業支援課

(目次)



1. 「UXプロジェクト」について

2. 現在の具体的な取組みについて

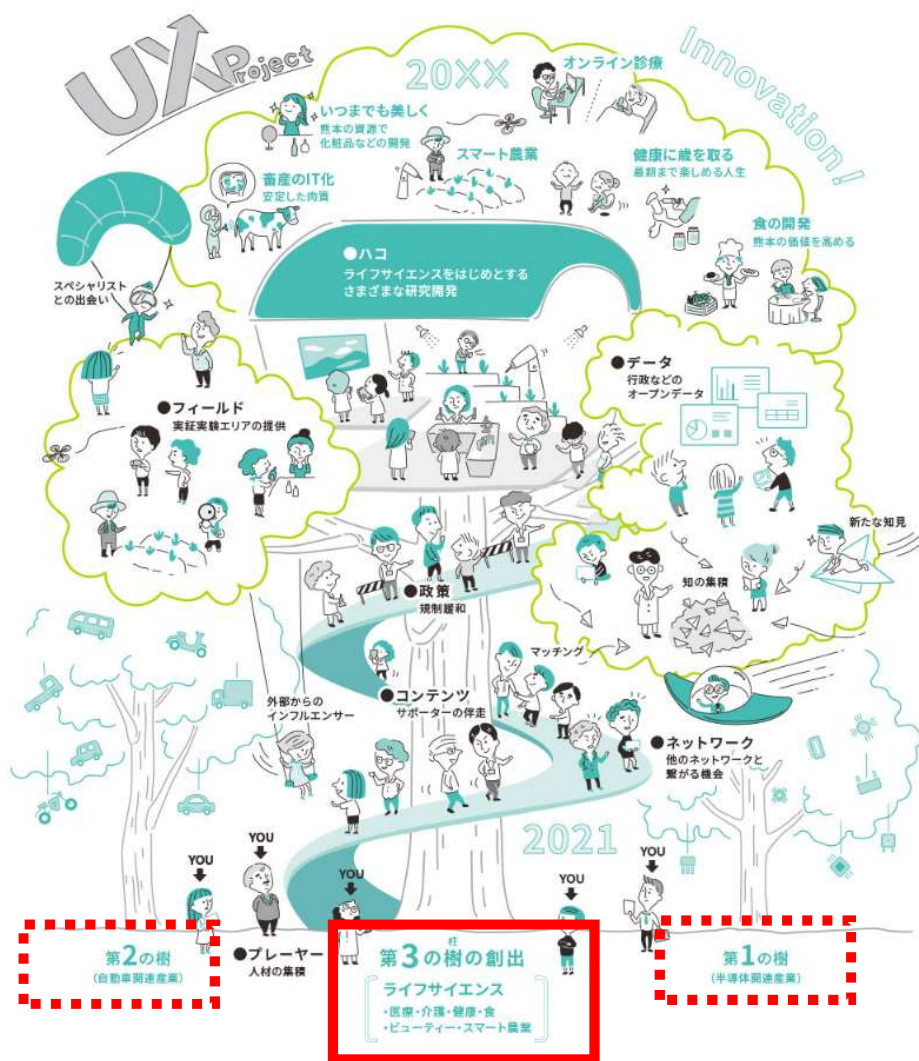
- ① 実証実験サポート事業
- ② 農業関連事業者による実証実験事業
- ③ UXアクセラレーションプログラム
- ④ データ連携システム調査/宇城市事例
- ⑤ 学生と企業の協業プログラム（UXチャレンジ）
- ⑥ 会員登録制度
- ⑦ テクノリサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携
- ⑧ 「Pre-UXイノベーションハブ」の開設
- ⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

3. UXプロジェクトを取り巻く動き

1. 「UXプロジェクト」について

- 本県経済が将来にわたり、持続的に発展していくためには、半導体・自動車関連産業に続く「**第3の柱**」となる**新たな産業の創出**が必要。
- そのため、**空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野※を中心として**、ビジネス創出の好循環（エコシステム）形成を目指す「UXプロジェクト」を推進。

※本プロジェクトにおけるライフサイエンス分野は、**医療・介護・健康・食・ビューティー・スマート農業等**を指す

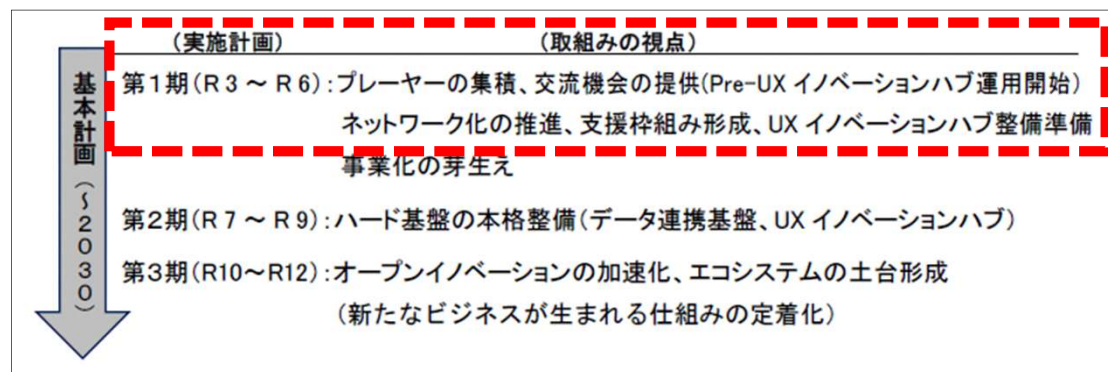
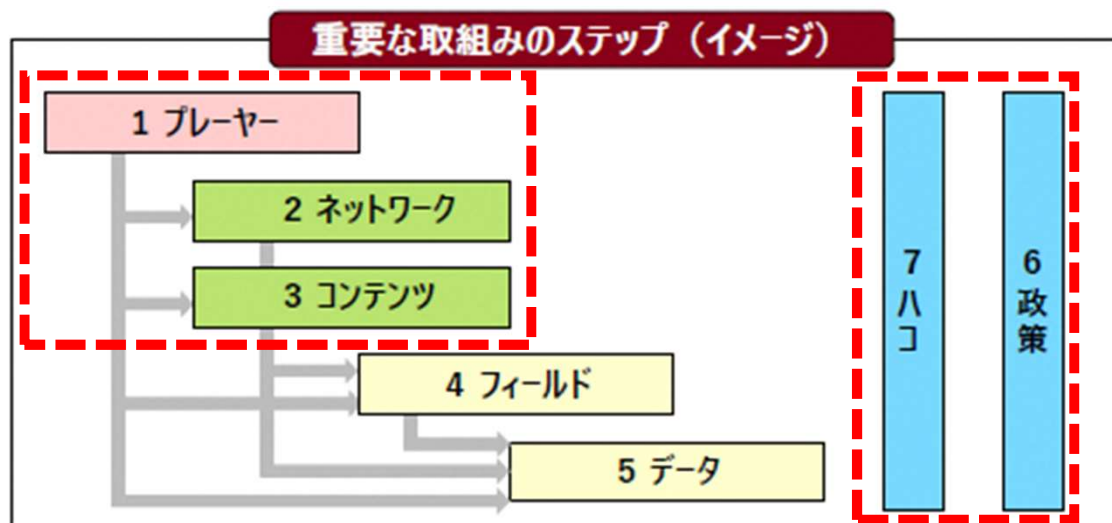
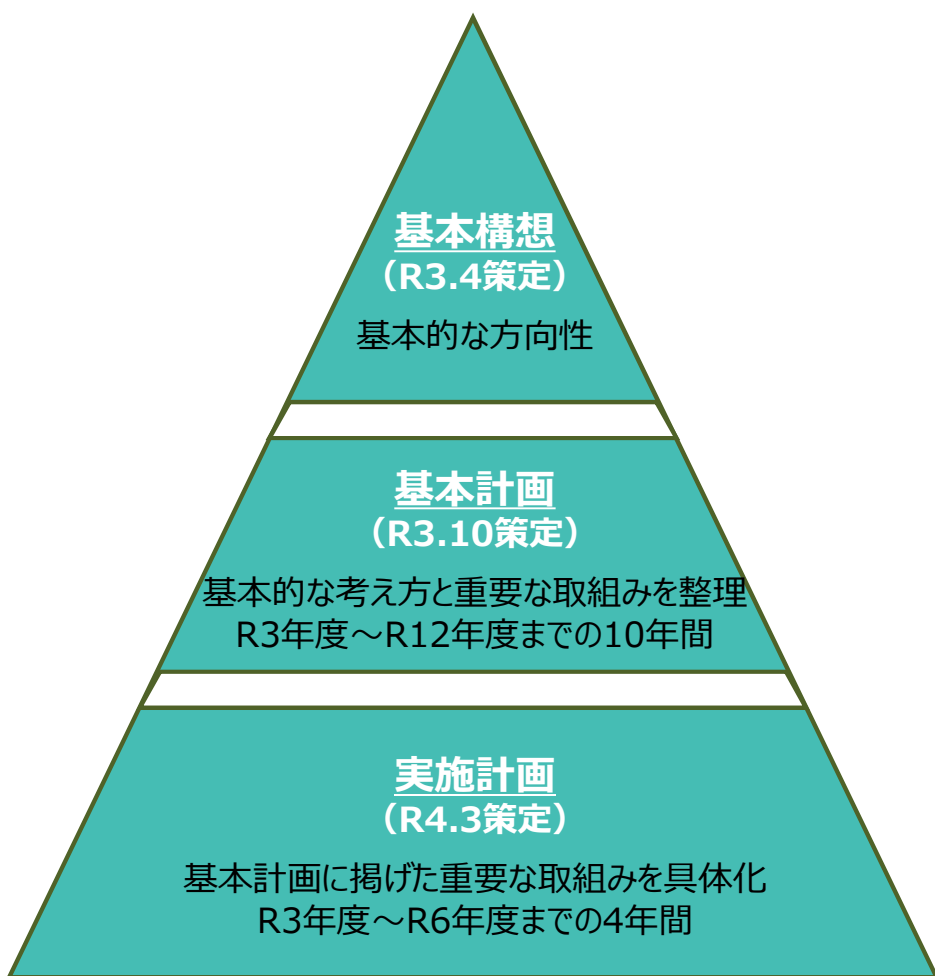


「UX」に込めた思い

- YOU** …… 身近な人から世界中の人々を指して「あなた」と表現します
- 結う** …… 人と人、人と技術、人と情報を「結び」つけます
- 熊(ゆう)** …… 熊本発の価値を追求します
- CROSS** …… 人と人、人と技術、人と情報をかけあわせます
- 未知** …… これから起こる未知のイノベーションに期待します

1. 「UXプロジェクト」について

- 令和2年度から、外部有識者を交えた委員会で3つの構想・計画を策定。今後10年間の基本的な考え方や重要な取組みを整理するとともに、直近の4年間で集中的に行う取組みを具体化。
- 第1期実施計画（～R6）では、「1 プレーヤー」「2 ネットワーク」「3 コンテンツ」を重点的に取り組むことで、中心的な参画者の発掘・集積や賑わいの創出を目指し、並行してこれらを後押しする「6 政策」「7 ハコ」の整備を行う。



(基本計画・実施計画より抜粋)

1. 「UXプロジェクト」について

(参考)

UXプロジェクト「基本計画・実施計画」の概要 ～ イノベーションの種を熊本から ～

1. 背景と目指す姿

① 50年、100年後を見据えた新たな産業の柱の必要性

- ・ 県経済の持続的発展のため、半導体、自動車関連に次ぐ、県内産業の新たな柱が必要

② ライフサイエンス分野における熊本県の強み

- ・ 水資源など豊富な天然資源、全国トップクラスの農業生産
- ・ 理工系の大学等から多数輩出される産業人材
- ・ 創薬の研究等医療・薬学分野での高度な研究
- ・ 医療、健康、食品等の分野のベンチャー企業の活躍

③ 阿蘇くまもと空港周辺地域における拠点性の高まり

- ・ 半導体や自動車関連分野を中心に数多くの企業が立地
- ・ 「大空港構想Next Stage」の取組み

本プロジェクトの
目指す姿

ライフサイエンス分野を中心とした
県内産業の「第3の柱」の創出

2. 10年間の取組みの方向性

【阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点とした「知の集積」】

全国から起業家・企業・研究者等が集い、生まれることによる賑わいの創出

3. 基本計画と実施計画の策定

- ・ 県内産業の「第3の柱」の創出に向けた長期にわたる取組みを計画的に推進

【基本計画】：UXプロジェクトの基本的な考え方と重要な取組みを整理

(期間) 令和3年度～令和12年度までの10年間

【実施計画】：基本計画に掲げた取組みを具体化

(期間) 令和3年度～令和6年度までの4年間



4. 具体的な取組みの推進

基本計画 (令和3年度～12年度)

1 プレーヤー

UXプロジェクトに参画するプレーヤーを育成、誘致

- ・ スローガンの対外発信等による人材の発掘と呼び込み

- ・ 人材育成プラットフォームの構築と運用

2 ネットワーク

プレーヤーに対して、企業・研究機関等とつながる機会を提供

- ・ オープンイノベーションプログラムと実証実験機会の提供

- ・ つながる機会とクロスする場を通じた連携関係の構築

- ・ 専門人材(コーディネータ)の配置による連携の促進

3 コンテンツ

各段階に応じて伴走する体制「チーム熊本」の整備、アイデア創出段階から支援する仕組みの構築

- ・ 支援体制「チーム熊本」の組成及び連携したサポートの実施

- ・ 資金供給体制の整備

- ・ アイデア創出のための学生・研究者向けプログラムの提供

4 フィールド

実証実験の場を提供

- ・ 実証実験フィールドの提供(規制緩和の見直し)

5 データ

ビジネスに結びつくデータにアクセスできる体制を整備

- ・ データ連携基盤の構築

- ・ 県医師会・熊大との連携体制構築

- ・ 県・市町村・企業等が有する各種データとの連携

6 政策

行政としての継続的支援

- ・ 行政側の長期的な支援体制の整備

7 ハコ

プレーヤーの交流や共同実験を行うための施設を提供

- ・ 新たな施設(イノベーションハブ、コワーキングエリア、共同実験エリア)の整備

実施計画 (令和3年度～6年度)

- ・ 各種イベントの開催
- ・ 影響力のある人材等の招聘
- ・ 企業等の誘致
- ・ UXプロジェクト会員登録制度の創設

- ・ ビジネスプロデューサー人材の育成
- ・ データサイエンティスト人材の育成
- ・ 各種人材育成施策との連携

- ・ 企業等の協業に係る支援
- ・ ビジネス創出支援
- ・ 技術の磨き上げ等の支援

- ・ イノベーションハブの整備
- ・ オンラインコミュニティの形成
- ・ 県外、国外とのネットワークの構築

- ・ 専門人材の配置
- ・ 企業・団体との連携による機能の確保

- ・ 支援企業・団体の集積(会員登録制度)
- ・ チーム熊本の組成の推進
- ・ 若手研究者に対する支援
- ・ 資金供給体制の整備

- ・ アイデア提案・実践プログラムの実施
- ・ アイデアやデータの蓄積と活用

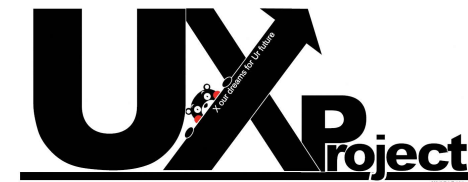
- ・ データ連携基盤の構築に係る設計
- ・ ガイドラインの検討

- ・ データ活用手順・手続きの整備
- ・ データの匿名化手続きの検討
- ・ KMNの研究開発等への試行運用

- ・ 健康データを活用したプロジェクト
- ・ 市町村等の健康データとの連携の検討
- ・ 行政データとの連携の検討

- ・ イノベーションハブの整備
- ・ 大学、産業支援機関等との連携
- ・ 既存施設の利用による場の早期提供
- ・ テクノリサーチパークの賑わいの創出

(目次)



1. 「UXプロジェクト」について

2. 現在の具体的な取組みについて

- ① 実証実験サポート事業
- ② 農業関連事業者による実証実験事業
- ③ UXアクセラレーションプログラム
- ④ データ連携システム調査/宇城市事例
- ⑤ 学生と企業の協業プログラム (UXチャレンジ)
- ⑥ 会員登録制度
- ⑦ テクノリサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携
- ⑧ 「Pre-UXイノベーションハブ」の開設
- ⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

3. UXプロジェクトを取り巻く動き

① 実証実験サポート事業

- 実証実験を対象とした支援を通じて、**熊本県の社会課題の解決や県民サービスの向上につなげていくとともに、スタートアップ企業等への支援により産業を創出する。**
- 採択事業については、**経費支援及び実証フィールドの斡旋、実証モニターの募集支援等の伴走支援を実施。**

事業概要

熊本県が抱える社会課題(県民課題)を解決するために、スタートアップ企業等の実証実験を支援する。

1 公募内容

次の3つの条件を**いずれも**満たす実証実験プロジェクトを募集。⇒**4件程度採択**

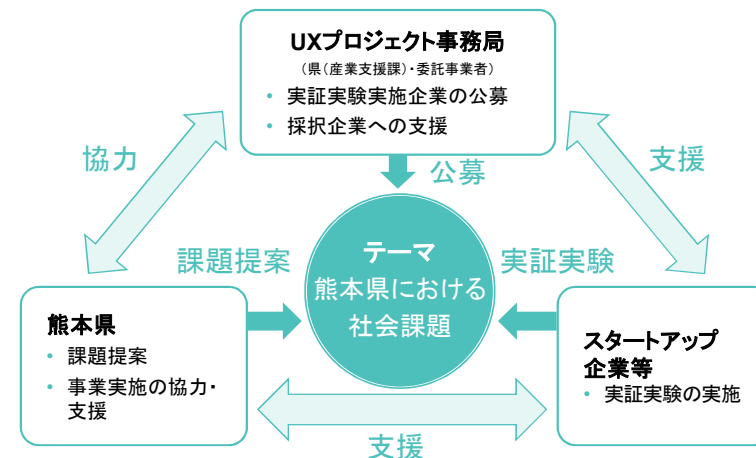
- 県の社会的課題の解決や県民生活の質の向上に資する取組であること
- 県の産業振興に資する取組であること
- 県の示す募集テーマ(2スライド目以降参照)のいずれかに合致する取組であること

2 公募スケジュール予定

7月5日～8月12日 公募期間
7月15日 説明会
7月29日 エントリーシート作成相談会
8月19日頃 1次審査結果通知
8月下旬 2次審査(プレゼンテーション)
8月下旬～9月上旬 事業者への面談
9月上旬 2次審査結果通知
9月上旬～2月末 実証実験期間
3月上旬～3月中旬 実証実験成果報告書作成
3月中旬 成果報告イベント

採択

実施体制



支援内容

- 最大200万円の経費支援
- 県内公共施設、協力企業が有する施設などの実証実験フィールドの斡旋
- 実証実験モニター募集支援、実証実験に係る各種調整等
- 規制関係等に関するアドバイス
- 実証事業のPR支援
- その他、熊本県が必要と判断する支援

① 実証実験サポート事業

- 公募の結果、県内外の事業者から30件の応募があり、4件を採択。
- 庁内及び関係機関との連携を図りながら、規制・障壁の整理やその対応策の検討、モニター募集など、実証実験の実施を伴走支援。

採択事業者

九州産交バス株式会社 産交バス株式会社
熊本電鉄株式会社 熊本バス株式会社
熊本都市バス株式会社

未来を見据えたノーマイカーデー実証実験～菊池南部地域の工業団地周辺をターゲットとして～

再春館製薬所
H2株式会社
株式会社再春館製薬所
H2株式会社

糖化の抑制による健康寿命の延伸と心身のアンチエイジング

トイメディカル株式会社

日頃の食生活における塩分モニタリング・ケアを通じて好きな食生活を我慢せず健康を目指すプロジェクト

桜十字病院 ACCELStars
医療法人桜十字
株式会社ACCELStars

睡眠可視化で快眠サポート～生活習慣病の予防～

実証内容

- セミコンテクパーク企業の従業員を対象に、複数ルートで通勤バスを運行
- マイカー通勤減少による渋滞緩和の変化を検証
- **1/27ノーマイカーデー実証実験の実施**
- モニターが血糖値測定センサーと保健指導アプリで自身の血糖状態を日常から計測
- 不知火菊・焼酎粕成分の摂取や保健指導による糖化抑制などの効果を検証
- **約100名のモニターを対象に実証実験を実施**
- モニターが自社開発の塩分吸収抑制サプリを摂取
- 食事管理アプリも併用し、尿中の塩分濃度や健康意識の変化を検証
- **約200名のモニターを対象に実証実験を実施**
- モニターが世界最高精度のデバイスを着用して睡眠の質を計測
- 血液・血圧検査も行い、睡眠衛生指導による睡眠の質の変化を検証
- **約30名のモニターを対象に実証実験を実施**

② 農業関連事業者による実証実験

- 昨年度、農業関連事業者による新たなビジネスアイデアの発信・マッチングイベントを開催。
- 参画した5事業者のうち、連携・協業先とのマッチングが実現した4件を中心に、ビジネスアイデアの具現化に向けた実証実験を含む伴走支援を実施。



有限会社 阿部牧場

プロジェクト▶チーズ製造時に発生する未利用資源ホエーの活用法



株式会社イノP

プロジェクト▶日本初！！サステイナブルなカモ対策～ICT無双網によるカモ捕獲と活用～



株式会社クマモト敬和

プロジェクト▶南阿蘇産ハーブを世界に広げるプロジェクト

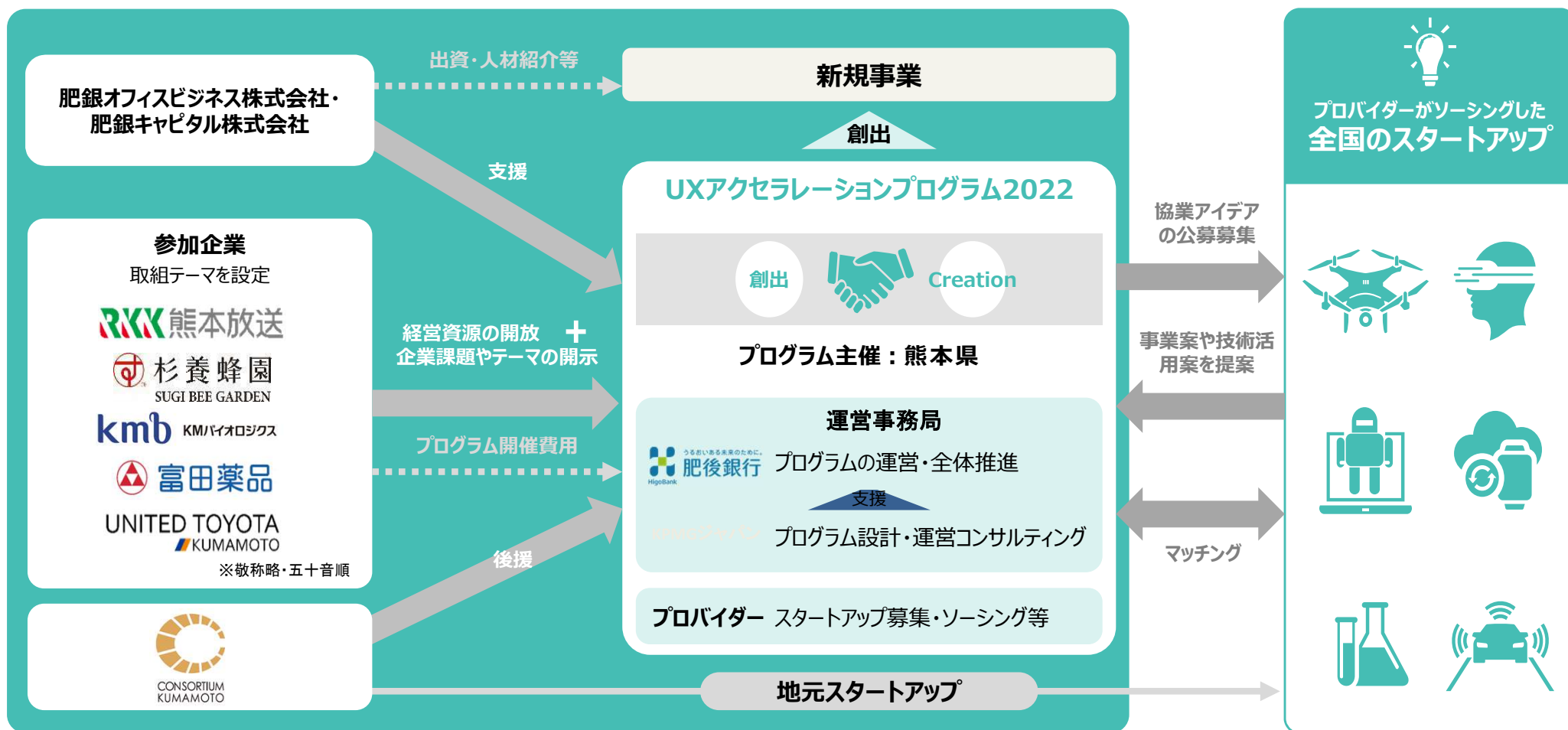


ハナウタカジツ

プロジェクト▶届ける一箱につめる幸福量の最大化

③ UXアクセラレーションプログラム

- UXプロジェクトの推進には、オープンイノベーションの文化が熊本に根付くことが必須。
- その実現に向け、新規事業創出を目指す県内企業と、独自のアイデアや技術を有するスタートアップ企業等が協業できるプラットフォームの構築に着手。



③ UXアクセラレーションプログラム

- 公募により選定された**県内大企業5社**が**取組みテーマを掲げ、スタートアップ企業等のアイデアや技術とのマッチング**により、**新規事業創出**を支援する。
- R5年度は、構築したプラットフォームを活用・改善し、**中小企業を中心とした案件の組成を図る**。



熊本放送

株式会社熊本放送

プロジェクト▶ローカル局発！
「視聴者参加型IP創出コミュニティプラットフォームの構築」



KMバイオロジクス

KMバイオロジクス
株式会社

プロジェクト▶赤ちゃんの産まれて初めての健康診断！新生児マスクリーニングの理解促進に向けた情報発信プラットフォーム



株式会社杉養蜂園

プロジェクト▶デジタル巣箱開発事業／子供向け”蜜育”ブランド開発事業



富田薬品株式会社

プロジェクト▶「新たな需要予測システムの開発」による医薬品流通の精度向上／遠隔医療に最適化したスマートデバイスの開発

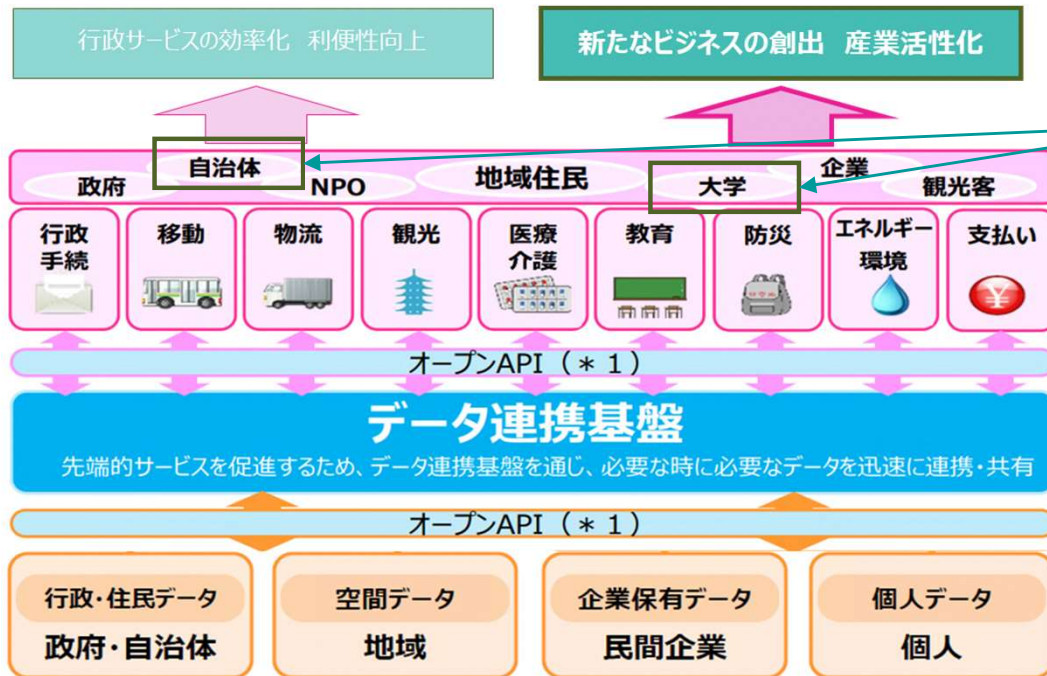


ユナイテッドトヨタ熊本
株式会社

プロジェクト▶NEXT KUMAMOTO City：人生100年時代のドライブシティ実現に向けた高齢者向けサービスの創出／「車両のCO2算定サービス」を入り口とした熊本の脱炭素化

④ データ連携システム調査/宇城市事例

- 現在県では、デジタル部局が中心となり、データ連携基盤や公共データの活用、行政オープンデータの推進に向けた検討・準備が行われているところ。
- そこで本プロジェクトでは、まずKMN(くまもとメディカルネットワーク)等の医療・健康データの産業利用に着目し、「基盤」を生かす「システム」の構築に向けた調査を実施。
- 熊本大学は宇城市と連携し、診療情報データの解析で病気の予兆を数値化する取組みを実施。



<接続イメージ>



データ連携システム構築に向け、国内外の先進事例等の調査を実施



オープンデータとの向き合い方を考える

UXプロジェクト
オープンデータソン2022

参加費無料
オンライン配信あり

2023年1月20日(金)
9:30 ~ 17:00

Pre-UXイノベーションハブ
熊本県上益城郡益城町田原1155-12 テクノ・ラボラトリビル1F

山形 巧哉 氏

◀ 行政が持つオープンデータの可能性を探る「オープンデータソン2022」を実施

⑤ 学生と企業の協業プログラム（UXチャレンジ）

- 新産業の創出のためには、中長期的な視点から本県の将来を担う人材の育成が重要。
- 県内の学生を対象に、パートナー企業が抱える課題の解決（＝ミッション）を起点に、それを事業計画の策定につなげる「UXチャレンジ」を実施。



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

株式会社イノP

×熊本県立大学総合管理学部チーム

プロジェクト▶農産物を脅かすカモの効果的な対策を考案せよ



くまもと健康支援研究所



熊本保健科学大学
Kumamoto Health Science University

株式会社くまもと健康支援研究所

×熊本保健科学大学理学療法学専攻チーム

プロジェクト▶コロナ禍で減少した運動施設利用者を取り戻すためのプランを考案せよ



FUKU
NARI



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

株式会社ふく成

×熊本県立大学総合管理学部チーム

プロジェクト▶水産物のマーケット拡大と単価向上のためのプランを考案せよ



⑥ 会員登録制度

- 各種イベントや公募情報等については、専用WEBサイトを活用して情報発信を強化。
- 今年度、新たに会員登録（メンバーシップ）制度を開始。本プロジェクトへの参画者を見える化して交流・連携の起点とするとともに、登録の具体的なメリットを提供していく。

<専用HPにおけるメンバー募集ページ>



◀ 登録無料！
オンラインで完結！

<制度のサービス(一例)>

UXメンバー(一般会員)

- 創業前の個人も含めた汎用的な支援を提供

労働環境の提供

UXイノベーション
ハブの利用



情報発信

基本的な情報の
取得機会



ネットワーキング

他者との関係
構築機会



事業支援

経営相談、UX
主催の実証実
験参加機会



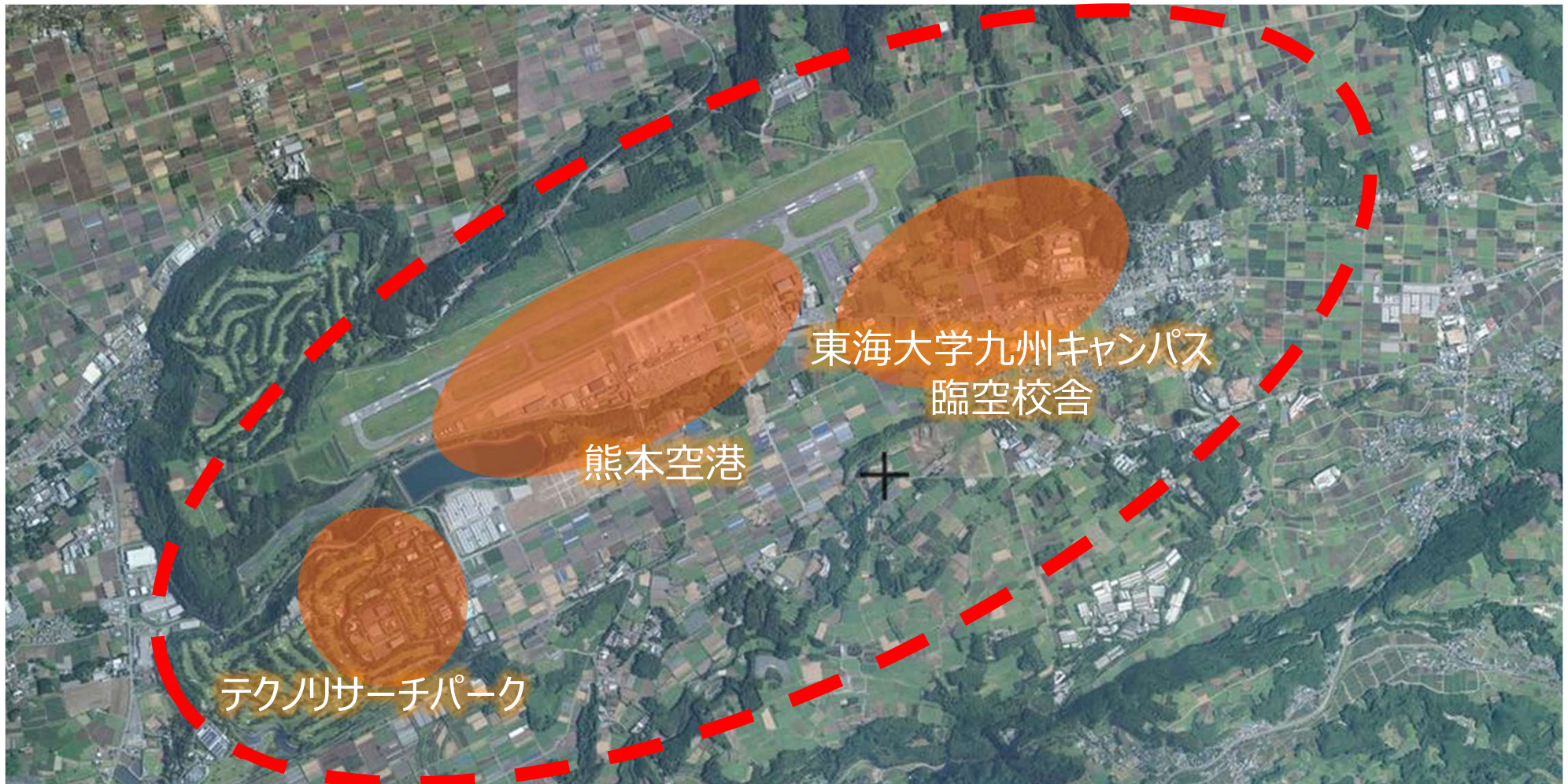
<入会方法>



▲ 3/15時点、350を超える企業・個人が登録しており、今後も継続的な増加が見込まれる

⑦ テクノリサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携

- UXプロジェクトを進めるにあたり、テクノリサーチパークの活性化はもちろんのこと、その周辺のプレーヤー・施設との連携により様々なメリットが期待される。
- これらにより面的な発展を図ることで、大空港構想・アクセス鉄道にも相乗効果が期待。



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>)

⑦ テクノリサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携

- 令和4年8月、熊本県、熊本国際空港株式会社、東海大学の各者が持つ資源を有効に活用し、熊本空港を中心としたエリアにおける一層の活性化と利用者・関係者の利便性の向上に協働して取り組むことを目的に連携協定を締結。
- 本協定により、3者が各施設の利用者にとって利便性の高いエリアの形成に取り組む。

【本協定の概要】

- (1) 共同開催イベントに関すること
- (2) 地域の環境に関すること
- (3) 本協定に資する実証に関すること
- (4) 各施設間の移動に関すること
- (5) 各者の情報発信に関すること



「空港周辺エリアを活用した地域活性化に関する連携協定」
締結式 (R4.8.26)

	R4年度 (2022年度)				R5年度 (2023年度)			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
熊本空港	協定内容 検討	締結 公表 連携協定	連携内容の 詳細設計	Pre-UXハブ 開設	開業 開校	連携開始		
東海大学 臨空キャンパス								
テクノリサーチパーク (県)								

⑦ テクノサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携

①テクノサーチパーク(県)



- 県産業支援施設
- 優良な研究開発型企业群（技術）
- イノベーションハブでの人材交流、スタートアップの新製品展示
- テクノ緑地でのレクリエーション
- 温浴・宿泊施設（ホテルエミナース）

×

②阿蘇くまもと空港



- 県外・国外人材の移動拠点（通過点）
（熊本⇄都市部の顔なじみが集まる入口）
- エリア間の移動拠点（タクシー・バス等）
- 飲食・物販施設の集積
- テレワークスペース

×

③東海大学 阿蘇くまもと臨空キャンパス



- 数多くのアカデミア・学生
- 様々な技術実証（自動運転等）
- キャンパス内での人材交流

3者の資源を活かし、連携することで利用者に大きなメリット

(①-②)

- 空港利用の県外・国外のビジネスマンが空いた時間で、テクノサーチパークのピッチイベントを視察、スタートアップによる新製品を見学。また、温浴・宿泊施設等の、空港には無い設備を①が補完

(①-③)

- 学生・アカデミアと新鋭スタートアップの交流、様々な実証・共同事業の実施

(②-③)

- アカデミアが空港から研究室・実習所へ直行

(①②③)

- 3エリア合同でのイベントや実証を開催（国際学会等）
- 各地でそれぞれの宣伝（クーポン発行等）

etc...

⑧ 「Pre-UXイノベーションHub」の開設

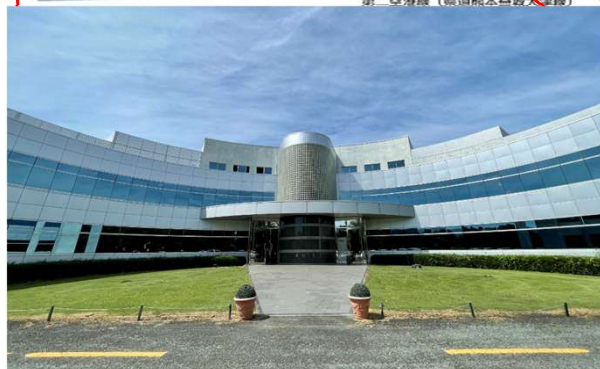
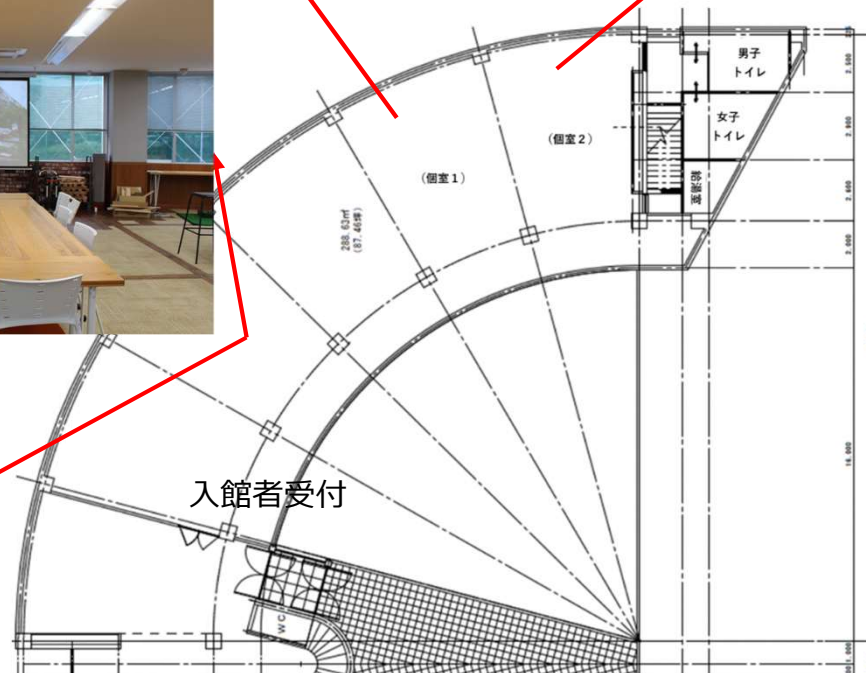
- 現在、UXプロジェクトを推進するうえで重要となる人的・技術的な拠点の整備に向け、基本構想を策定中。
- こうした拠点の整備には一定の期間を要することから、**まずは最低限の機能(コワーキングスペース・個室)**を備えた交流拠点施設「Pre-UXイノベーションHub」を先行的にR4.10.14開設。
- 様々なイベントを開催、**県内外のプレイヤー等の交流を促進**する。(開設以来800名強の施設利用)



打ち合わせや商談等の際に
有用な個室を2室設置→



大型モニター・プロジェクター・
スクリーンを配備↓



外観 (1室を活用)



レイアウト自由なコワーキングスペース

⑧ 「Pre-UXイノベーションハブ」の開設

- Pre-UXハブの開設とともに、実証実験サポート事業の参画事業者などを広く周知するため、オープニングイベントを開催。県内を中心に産学官金から多くの参加者があり、活発な交流が行われた。

➡ 参加者：現地103人／オンライン52人



UXプロジェクト
UX INNOVATION HUB OPENING DAY
2022年10月14日 [金] 13:00-17:00
会場 Pre-UXイノベーションハブ
熊本県上益城郡益城町田原1155-12 参加費 無料
テクノ・ラボラトリビル1F (オンライン同時配信)

【会場ご参加にあたっての留意事項】
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご参加いただく際には原則マスクの着用をお願いいたします。また、37.5度以上の発熱、咳や喉の痛み、だるさや息苦しさ等の症状がある場合や、新型コロナウイルス感染症罹患性とされた方の濃厚接触者の場合には、会場参加をお控えいただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先 参加申込はコチラ
UXプロジェクト事務局
ux.project@jp.ey.com
申込締切：10/7 (金)

【主催】熊本県
【運営】UXプロジェクト事務局 (EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社)

UX INNOVATION HUB OPENING DAY プログラム
開所を記念して、木村熊本県副知事による挨拶を皮切りに3つのプログラムを開催します。
13:00~14:00
UX TRY! 実証実験プロジェクトキックオフ!
県の社会課題解決に資する実証実験を行うプロジェクトとして、4件の提案を採択しました。採択された4社によるショートピッチ後、トークセッションを行います。
※QRコードより参加申込をお願いします。会場参加は申込多数の場合、抽選となります。抽選結果は10/11 (火) を目途に申し込んだメールアドレス宛にお送りします。

<p>九州電機工業株式会社 建設バス</p> <p>九州電機工業株式会社 建設バス</p> <p>プロジェクト「未来を見据えたノーミーカー」実証実験～築地地区地域の工業団地周辺をターゲットとして～</p>	<p>再春館製菓所 H2株式会社</p> <p>株式会社再春館製菓所 H2株式会社</p> <p>プロジェクト「高齢化の抑制による健康寿命の延伸と心身のアンチエイジング」</p>	<p>板十字 CCELStars</p> <p>医療法人 板十字 株式会社ACCELStars</p> <p>プロジェクト「高齢化で医療サポート～生活習慣病の予防～」</p>	<p>TOY MEDICAL</p> <p>トイメディカル株式会社</p> <p>プロジェクト「日頃の食生活における水分モニタリング・ケアを通じて好きな食生活を楽々せず健康を目指すプロジェクト」</p>
--	---	---	---

14:00~15:00
UX FOOD 熊本発! 新時代の食はこれだ!
近年話題を集めている代替肉をはじめとして、熊本で活躍する企業が提供する新時代の食が集積します。食を取り巻く新たな取り組みや技術をぜひ体感ください。
※QRコードより参加申込をお願いします。申込多数の場合、抽選となります。抽選結果は10/11 (火) を目途に申し込んだメールアドレス宛にお送りします。

<p>阿部牧場 株式会社阿部牧場</p> <p>阿部牧場「あぶ」で 食料調達</p>	<p>株式会社イノブ</p> <p>食料調達「あぶ」で 食料調達</p>	<p>DAIZ 株式会社</p> <p>独自の調製技術を用いて大 目を用いた野菜を配合した 代替肉「アブ」</p>	<p>DIAMOND BREWING ダイヤモンド</p> <p>株式会社ダイヤモンド ビール</p> <p>食料調達「あぶ」で 食料調達</p>	<p>dlob DIZENTER BALLOON</p> <p>株式会社デンソー</p> <p>食料調達「あぶ」で 食料調達</p>	<p>DENSO Crafting the Cow</p> <p>株式会社デンソー</p> <p>食料調達「あぶ」で 食料調達</p>
--	--	---	---	--	---

15:00~17:00
同時開催 (主催: 次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム)
「熊本から世界に羽ばたくメガベンチャーを生む」
熊本テックプランナーは、2016年より「熊本から世界を変える」ことを目指す研究開発型ベンチャーのためのエコシステムを構築してきました。協力企業・ベンチャーが集まり、その軌跡や今後を議論します。

<p>AWW 株式会社</p> <p>「国際標準」の創製と通関業務・通関業務によって良質な医療薬品を目指す。</p>	<p>CAST 株式会社CAST</p> <p>高品質かつ多様なセンサーを提供することで、より便利で安全な世界の実現を目指す。</p>	<p>sitateru 株式会社sitateru</p> <p>「sitateru」を中心に、広域の大量生産・大量消費の問題を解決し、サステナブルな社会を目指す。</p>	<p>TOY MEDICAL 株式会社トイメディカル</p> <p>遠隔医療技術を開発。「遠隔医療」に資する診断患者さんの笑顔を生むことを目指す。</p>	<p>モデレーター 丸寺弘 株式会社リバネス 代表取締役グループCEO</p>
--	---	---	---	---



▲実証実験サポート採択4者によるピッチ

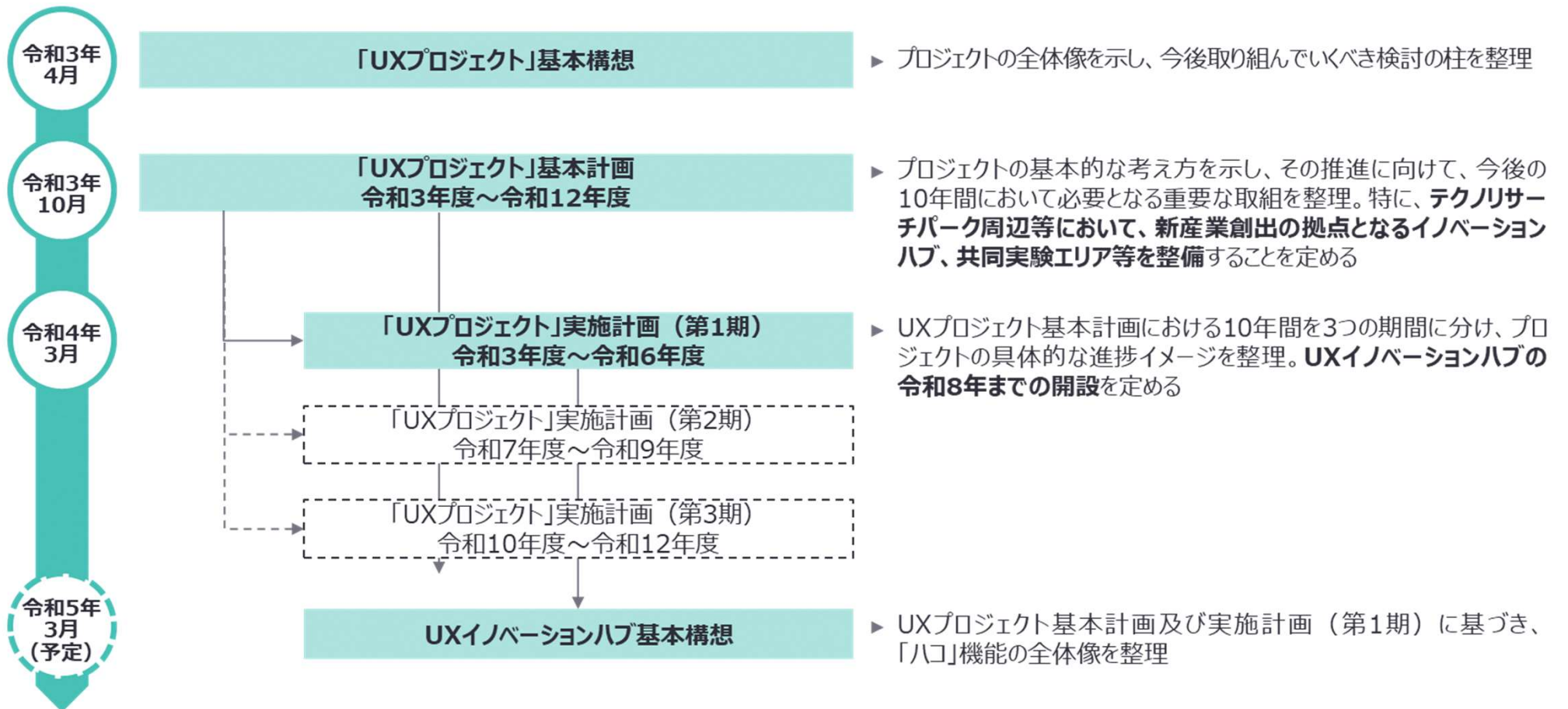
▼新たな食を提案する企業による試食会 (上: デンソー / 下: 阿部牧場)



⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

- UXイノベーションハブ基本構想では、「UXプロジェクト」基本計画及び実施計画（第1期）に基づく『「ハコ」～リアルでクロスする場の提供～』の整備に向けた全体像を整理

UXプロジェクトに関する行政計画として、これまで基本構想・基本計画・実施計画（第1期）を策定しました。今回、UXプロジェクトにおいての7つの取組（①プレイヤー、②ネットワーク、③コンテンツ、④フィールド、⑤データ、⑥政策、⑦ハコ）のうち、リアルでクロスする場の提供を担う「ハコ」の整備に関する基本的方針を定め、UXイノベーションハブ基本構想として定めます。



⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

- イノベーション拠点において求められる機能は、UXイノベーションハブ及びテクニサーチパークに立地する他施設も活用しながら機能補完をしていくことを目指す

イノベーション創発のためにテクニサーチパークで導入・強化を目指す主な機能

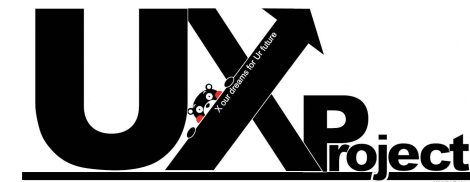


⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

- UXイノベーションハブを起爆剤にエリアへの賑わいを波及させると共に、周辺拠点との連携を構築しながら、熊本県の第3の柱としてライフサイエンス産業を創出する



(目次)



1. 「UXプロジェクト」について

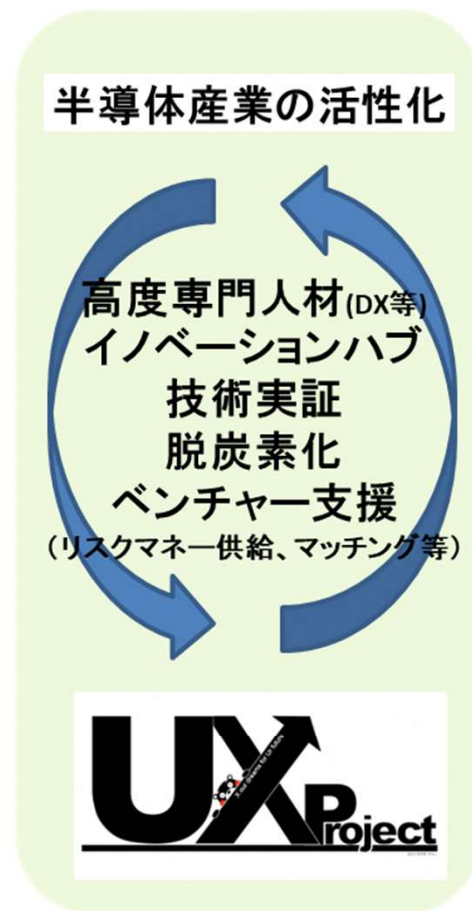
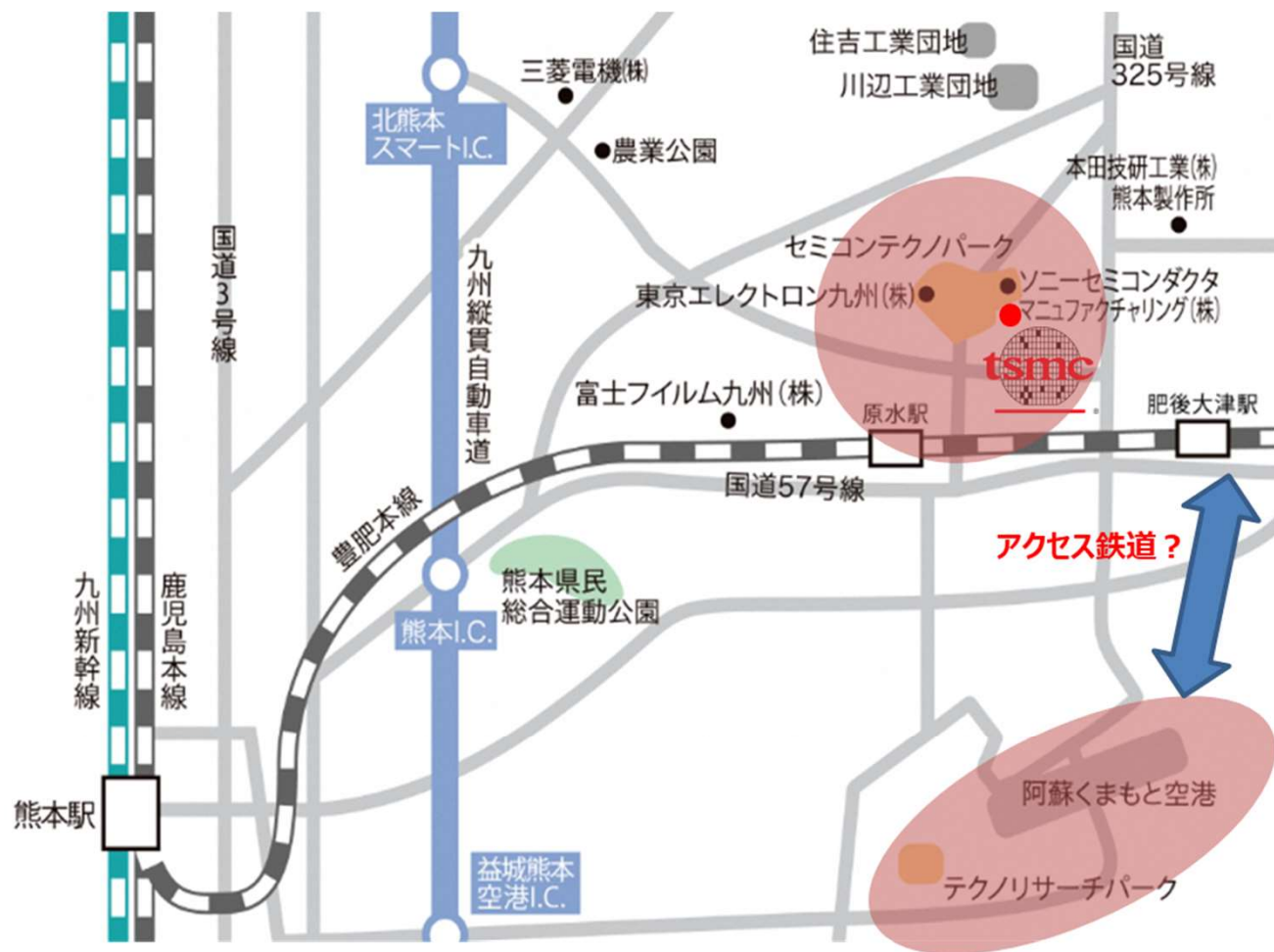
2. 現在の具体的な取組みについて

- ① 実証実験サポート事業
- ② 農業関連事業者による実証実験事業
- ③ UXアクセラレーションプログラム
- ④ データ連携システム調査/宇城市事例
- ⑤ 学生と企業の協業プログラム（UXチャレンジ）
- ⑥ 会員登録制度
- ⑦ テクノリサーチパーク(県)・熊本空港・東海大学の連携
- ⑧ 「Pre-UXイノベーションハブ」の開設
- ⑨ 「UXイノベーションハブ」整備に向けた検討

3. UXプロジェクトを取り巻く動き

3. ① UXプロジェクトと半導体産業活性化の相乗効果

- 対象とする分野は「ライフサイエンス・半導体」という違いはあるものの、推進にあたって必要な政策・支援・環境等は共通する点もあり、それぞれが最大限活性化するように、相乗効果を生み出すことが期待される。



相乗効果のイメージ

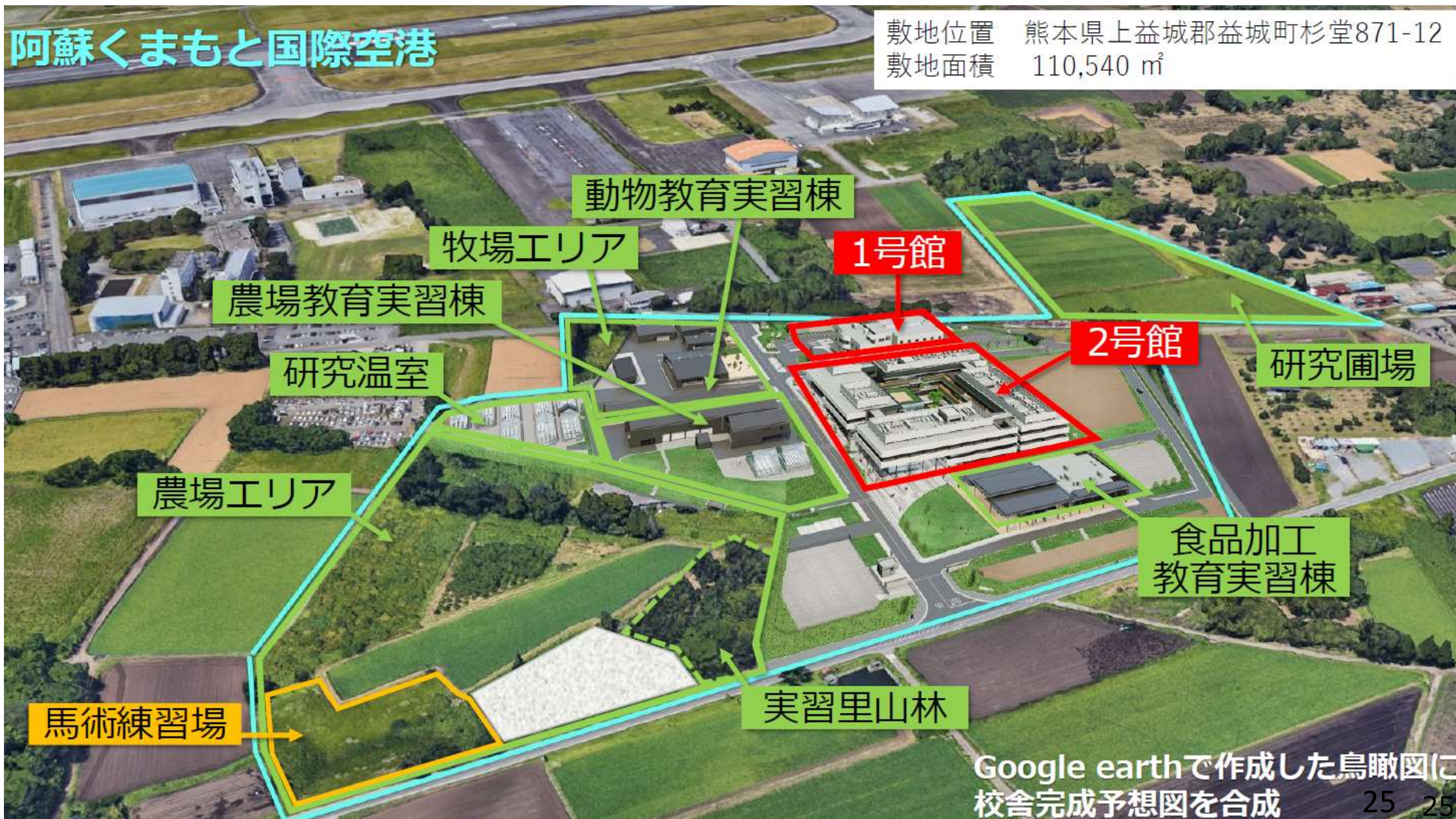
「様々な知(アイデア)の集積」×「新たな先端技術・デバイスのニーズが発生」、「最新のインフラが整備」×「新たな実証空間」
「海外スタートアップ」×「日本進出しやすいビジネス環境」、「多様多様なヒト・モノ・コトが行き交う」×「豊富なデータ、それに伴う新ビジネス」

3. ② 東海大学 阿蘇くまもと臨空キャンパスについて

- 新空港の供用開始に合わせて、本年4月に開設予定。約800名の学生に加え、多くのアカデミアが終結。最先端の農業・食品関連施設を兼ね備える。

阿蘇くまもと国際空港

敷地位置 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12
敷地面積 110,540 m²



3. ② 熊本県におけるフードテック産業の可能性

- 県内企業である株式会社フタバが製造する「御飯の友」は日本初のふりかけとして知られており、大正初期に熊本大学薬学部出身の薬剤師が児童の栄養補完として考案。産学が連携し生まれた製品であり、まさに日本のフードテックのさきがけといえる。
- また、熊本県には豊富な農産物、発酵技術、またそれらを支えるアカデミア・企業が存在。

御飯の友は、ふりかけの元祖。

薬剤師の吉丸末吉氏によって考案されました。当時の日本は食料不足の時代で、カルシウムが慢性的に不足していました。それを補うために吉丸氏が考えたのが「魚を骨ごと細かくし、美味しく味付けをしてご飯にかけて食べる」という発想でした。そして誕生したのが「御飯の友」です。誕生当初は近所でお配りするほどのものでしたが、口コミで次々に評判となり100年以上経った今でも魚嫌いな子供も美味しくカルシウムをとれるふりかけとしてたくさんの方々からご支持をいただいています。



(引用) <http://www.gohannotomo.co.jp/>

農業	全般	<ul style="list-style-type: none"> 農業産出額 全国6位 認定新規就業者数 全国1位 認定農業者数 全国3位
	農産物	<ul style="list-style-type: none"> トマト、スイカ、い草、馬肉生産【日本1位】 くり、しょうが、なす【日本2位】
水産業	真鯛、ふぐ類【日本2位】	
食品	日本酒、焼酎、味噌、醤油等の発酵食品製造【日本有数】	

大学	理工系の学部が多く、理工系新卒者が年間6,000人	
	熊本大学	<ul style="list-style-type: none"> 薬学部(薬効植物サンプル【世界有数】) 発生医学研究所(生命科学と医学の統合的研究) 生命資源研究・支援センター(生命科学の研究と研究資源の供給)
	崇城大学	<ul style="list-style-type: none"> 生物生命学部応用生命科学科(ライフサイエンス教育) 起業部(大学発ベンチャーの輩出)
	東海大学	<ul style="list-style-type: none"> 農学部(臨空校舎2023年開設予定、校舎・畜舎・温室など31棟と畑を整備予定)
高専	<ul style="list-style-type: none"> 熊本高専(高専版オープン・イノベーション基盤の構築) (国立高専機構「KOSEN4.0イニシアティブ」平成30年度採択) 	

3. ② (参考) フードテックについて

- 世界のフードテック市場規模は、24兆円（2020年）から**279兆円（2050年）に急拡大する見込み**であり、金融機関等もフードテック市場の成長に注目しているところ（米国では210億ドルの投資（2021年））。
- 国策としても経済産業省・農林水産省が取り組みを始めており、**非常にポテンシャルが高い市場**。

フードテック市場規模

フードテック 市場規模	既存市場 市場規模		市場規模		
	足元	2050年	足元	2050年	
精密農業	0.5	0.6	農業用機械	6.3	7.6
未利用食品廃棄物を活用した昆虫飼料	0.1	24.2	動物性タンパク質飼料	16.1	40.2
陸上養殖	0.04	4.7	水産養殖	3.2	8.1
代替肉	12.0	138.0	食肉	116.3	243.5
ゲノム編集育種	0.2	14.1	種子、繁殖、養殖種苗	24.4	30.9
完全栄養食品	4.9	57.5	健康栄養食品	41.0	102.5
コーティング技術、包装・容器技術 (ガス置換包装・鮮度保持フィルム)	2.6	3.2	食品包装機械	3.1	3.9
スマートキッチン (調理ロボット、3Dフードプリンター、キッチンOS、スマート調理家電)	1.5	26.3	調理家電	17.6	44.0
特殊冷凍技術	0.6	5.8	業務用冷凍庫	3.1	7.6
レシビサービス・賞味期限管理アプリ	0.3	0.7	-	-	-
食品残渣処理システム (発酵分解・粉碎・減量脱水)	1.3	4.1	食品廃棄物管理	3.2	4.9
合計	24.0兆円	279.2兆円		234.3兆円	493.2兆円



各国への投資額の比較（2021年）



世界700兆円の新産業「食」の進化と再定義

FoodTech

フードテック革命

世界最先端のフードビジネスが分かる!

- 植物肉&培養肉
- キッチンOS家電
- 「ゴーストキッチン」
- 次世代コンビニ
- 食のパーソナライゼーション
- フードロス(フードロボット)

アフターコロナ時代の羅針盤

フードイノベーションマップ7.0

3. ③ 県・熊本市・熊本イノベーションベース連携イベント

- 熊本県・熊本市では、起業から成長に至る様々なフェーズでスタートアップ支援を行い、起業家・企業家の成長による熊本の経済の活性化に取り組んでいるところ。
- 県と市が連携し、官民で一体となってスタートアップ・企業家、経営者がさらに成長できるよう、環境整備を進めていくため、イベントを開催。

目的

- スタートアップの創出に向けた熊本市との連携の契機づくり

イベント概要

イベント名	■ KUMAMOTO INNOVATION FORUM
開催日	■ 2022年11月7～8日
開催場所	■ DAY1 : ホテル日航熊本 ■ DAY2 : 熊本城ホール、XOSS POINT
参加人数	■ 合計 354人(延べ数) DAY1 : 205人 DAY2 : 熊本城ホール117人 XOSS POINT32人

成果

- ✓ KUIB・県・市との連携イベント開催におけるPRを実施(県主導)
KUIB・県・市の3者合同記者会見を実施し、県内メディアを介しPRを実施



イベント当日

- ✓ 県内事業者(県内の大企業から中小企業等が多数参加)の交流の場として活況を呈した



DAY1

DAY2

3. ④ 熊本でのビジネスの芽生え

- 「熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム」では、ベンチャーを創出するエコシステム構築を目指すため、2016年から創業支援プログラム「熊本テックプランター」を実施。
- この取り組みにより、ライフサイエンス分野を中心としたベンチャーが続々と生み出され、事業化・商品開発・資金調達を行うなど、着実な成長、新産業の創出に繋がっている。



AMI株式会社



「心音図検査装置AMI-SSS01シリーズ」



第1回熊本テックプランングランプリ

- 心電と心音をデータ化する聴診器「超聴診器（心疾患診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器）」を開発。
- 2022年には、心音と心電を同時取得できる小型デバイス『心音図検査装置AMI-SSS01シリーズ』の薬事承認を取得。販売/レンタル予約受付を開始している。



トイメディカル株式会社



排塩サプリ「デルソル」



第2回熊本テックプランングランプリ

- 体内に塩分が吸収されることを抑制する排塩サプリメント「デルソル」を開発。
- 2020年にヤマエ久野株式会社との資本業務提携。
- 2022年には「GABA デルソル」において機能性表示を取得。

3. ⑤ テクノリサーチパークにて史上最大規模のフェスイベント開催！

- テクノリサーチパークの賑わいの創出を目的としたイベントをテクノ中央緑地公園で開催
- 3/25(土)、26(日) 10:00～16:00 キッチンカーやマルシェの他、電動キックボード、ドローン、熱気球 など面白いイベント多数。ご家族ご友人お誘いのうえ、お越しください！



リサーチパークフェス

2023年3月25日(土)～26日(日)
10:00～16:00

テクノリサーチパーク中央緑地公園

キッチンカーやマルシェに軽トラ市の他、
電動キックボード・セグウェイに
ドローン操縦、熱気球搭乗体験など
楽しいコト盛りだくさん♪

